

元日に能登半島地震発生

一月一日、元旦の午後、能登半島を中心にした大きな地震が発生しました。滋賀県でも携帯電話のアラートが鳴り響き、大きな横揺れが長い時間続きました。直後に津波警報が出され、NHKのアナウンサーが「すぐに逃げてください」と絶叫していたのが強烈な印象として残っています。通信や交通などが寸断され情報が少ない中、徐々に被害の状況が明らかになってきました。インターネットなどの動画を見ると、とても立っていられないような激しい揺れ、迫り来る津波、火災、本当

に恐ろしい光景です。被災された方々に心からお見舞いと哀悼の言葉を申し上げます。

能登は、浄土真宗が盛んなところで、本願寺派や大谷派のお寺がたくさんあります。多くは海沿いや山間部に位置し、本堂の全壊や墓地自体が土砂に流されるなど、その被害は甚大です。しかし、これまでの多くの震災の経験から、迅速に各方面からの支援がはじまりました。まずは命の救助、そのあとは水や食糧、暖房、生活環境の復旧が急務です。とりわけ、心のケアが大切だと思います。被災された多くの方が、「能登に帰りたい、でも、もう住めないかもしれない」と不安を感じておられるそうです。

◆

古代、奈良の大仏は、大きな地震が起きて人々の心を癒すために聖武天皇が発願し建立されたそうです。私たちは、さまざまな支援と合わせ、被災地の報道に耳を傾けつつ、多くの人が希望を持てるよう、心の復興も応援していきたいものです。
(住職)

二月(如月)	
三日(土)	役員会 一二時
一〇日(土)	お講 一一時
一四日(水)	涅槃会 内勤め
一七日(土)	お花立て・幕つり
一八日(日)	(役員・年行司) 一三時 春季永代経(別掲)

春季永代経

2月18日(日)

13時30～

お取次 住職

夜座はありません。
健康に不安がある方は、無理せずご自宅でお参りください。

恒河沙諸仏

仏説阿弥陀経の中程に、「恒河沙諸仏(ごーがーしゃーしょーぶーつ)」という言葉が6回出てきます。私が大好きな部分です。恒河(ごうが)は、インドの大河、ガンジス河のこと。沙(しゃ)は砂のこと。ですから、ガンジス河の砂の数ほどのたくさんのお仏様という意味です。東方・南方・西方・北方・下方・上方、どっちをみても数えきれない無数の仏様がおられる。

仏教では宇宙のことを三千大千世界と言います。その宇宙には仏様が満ちていて、すべての仏様が、「阿弥陀さまにお任せすれば良いのですよ」と呼びかけてくださっているのです。お釈迦さまは繰り返し、そのようにお弟子にお話しされたのでした。

浄財から「経本」購入と能登地震支援

約四〇年使ってきた「日常勤行聖典」が、汚れたりページが外れたりしていましたので、このたび新しいお経本を購入しました。サイズも大きくなりとても見やすいです。

また、能登半島地震の支援金を寄贈しました。いずれも本堂にあげていただいたお賽銭から出させていたいただきました。



二月の掃除当番は、倉内英治さんです。お世話様ですがよろしくお願いたします。



清浄光はインターネットでもお読みいただけます

世のなか 安穏なれ



復活！お寺めぐり（台湾編）



台湾の南の端にある高雄郊外の広大な敷地に佛光山寺があります。佛光山は臨済宗のお寺で、もともとは荒れ果てた山野だったところを、星雲大師というお坊さんが中心となって少しずつ開墾し、やがて立派な伽藍が立ち並ぶ大寺院となりました。今では世界20カ国に別院があるそうです。境内には、仏陀記念館というエリアがあり、正面に巨大なお釈迦さま、そこへ向かう山道の両側には、いくつもの塔

が立ち並んでいます。私がお参りした

当日は、何十台もの移動図書館が並んでいました。エリア内は、まるで仏教テーマパークといった雰囲気、たくさんのお坊さんが観光バスで見学に訪れていました。仏教ミュージアムあり、美術館あり、映画館あり、巨大なウサギのバルーンあり、レストランあり、なんとスターバックスもあったので、私も冷たいコーヒーを飲んで休憩しました。楽しみながら、知らず知らずのうちに仏教に親しむことができ、素晴らしいお寺でした。



さて、台湾といえばグルメ。夕食は客家料理をいただきました。客家（はつか）とは、中国の福建省や広東省を中心に独特の風俗を持って住んでいた人たちで、台湾にもたくさん住んでおられるそうです。お店は人気店らしく、たくさんの方が並んでいました。鶏や豚を中心に、タケノコや山菜、キノコ、川魚などを使った料理が中心で、とても美味しかったです。

住職の星空案内



カニ星雲。カニと名付けられています。カニ座ではなく牡牛座にあります。一〇五四年に現れた超新星の残骸で、藤原定家の『明月記』という日記の中に記載があるそうです。超新星とは、星が大爆発を起こして明るく輝く現象です。地球からの距離が約六五〇〇光年とされているので、実際には七五〇〇年前に爆発したということになります。一秒間に三〇回の電波を発していることがわかり、宇宙人からのメッセージではないかと大騒ぎになったこともあります。たくさん赤い筋が、カニの脚のように見えたことから、カニ星雲と呼ばれるようになったそうです。

くいすクイズ QUIZ

みなさんご存知の恩徳讃です。「♪によら〜いだいひの♪」ってメロディが聞こえてきますね。あれれ、よく見ると、漢字がらか所間違っているよ。探してみてくださいね。

如来大悲の恩解くは
身を子にしても
報ずべし
師主知色の音徳も
ほねをくだきても
車すべし

先月号の答え

